

公共施設の有効活用 太陽光パネル設置で 使用協定を締結



▲協定書を手し、握手を交わす市長と恩田社長

市は株式会社ウエストエネルギーソリューションと、公共施設の屋根に太陽光発電パネルを設置することについて基本協定を結びました。先月4日の締結式で天満市長と恩田英久社長が協定書に署名しました。同社が同様の協定を結ぶのは県内で5自治体目です。

使用する公共施設は、第四中、宮浦中、南小、沼田西小、東部共同調理場、大和認定こども園、円一保育所の7カ所で使用面積は合計約2,400平方メートル。年間使用料は約66万円で、使用期間は21年です。

市には、公共施設を有効活用することで、使用料が入るほか、災害時に非常用電源として活用できる利点があります。また、学校などには発電量が分かる表示板が設置されることになっており、環境学習にも利用できます。

☎管財課
☎0848・67・6012

新メンバーで再開 中心市街地活性化 策定委員会を開催

駅周辺の中心市街地の活性化を図るために設置された中心市街地活性化基本計画策定委員会の会合を先月5日、市役所城町庁舎で開きました。同委員会は、人口減少や駅前の大規模商業店



▲中心市街地活性化策定委であいさつする吉田委員長

舗の撤退などで、空き店舗が増加するなど、中心市街地の空洞化が進んだことを背景に平成21年9月に設立。駅前東館跡地の活用が定まらなかつたことで一時中断していましたが、新たなメンバーで4年ぶりに再開しました。

委員は、商工団体や地元町内会の代表など14人で構成し、委員長に県立広島大学講師の吉田倫子さんを選び、副委員長に商工会議所副会頭の三好康荘さんが指名されました。

会合では、中心市街地の区域を、館町、本町、港町、城町、円一町の約90ヘクタールとすることなどが提案されました。今後4回程度の会合を開き、年度内に基本計画案を市長に報告する予定です。

基本計画策定後は、国の認定を受け、各種支援制度を活用しながら、中心市街地の活性化を図っていきます。

☎商工振興課
☎0848・67・6072

瀬戸内三原 築城450年事業が 本格始動

平成29年の三原城築城450年を契機に、観光客や交流人口の拡大を図るため「瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会」が設立され、先月10日、市役



▲小早川隆景によって建造された三原城天主台

所で初会合が開催されました。協議会は、市や県、商工団体、観光協会など14団体で構成。会長に商工会議所会頭の勝村善博さんを選び、副会長に三原観光協会会長の福島偉人さんと臨空商工会会長の梅本秀明さんを指名しました。

初会合では、観光客数や観光消費額の目標値を検討したほか、今年度中にマスコミキャラクターや専用ロゴを制作し、広報誌を発行することを決めました。

平成29年2月の神明市から11月の浮城まつりをメイン期間に、各種イベントを開催します。

☎観光課
☎0848・67・6015